

バストス週報

第1522号
昭和五十一年
七月五日
月曜日発行
Diretor
Koiti Mori
Redator
Shoho Miyatake
Rua 10 de
Novembro 882
C. Post. 112
Fone: 340
BASTOS
E. S. P.
Annual
Cr #
65.00
前金 Adiant.

潮騒 28

疑われる人々

○ロッキード社から献金を受けた人は、どういふ方面の人達であろうか。日本の検察当局で極力捜査中であるというが、政府がロッキード社提出証書類を日本側に渡した時の条件として、収賄者の名前は起訴された者以外発表せぬこととされているから、その噂で賑わうのであろう。

○鬼玉蒼士夫と供に小佐野賢治も名を挙げたが、二人共知らぬ存せぬで、鬼玉の方は脱税で起訴されたが、小佐野は今の処何の拘束も受けてはおらぬ。しかし、小佐野から政治献金を受けている人は十数人にのぼっている由である。

○政治資金規正法という法規があつて、政治団体が個人や企業から寄附を受けると届出をしなければならぬが、献金を受けても寄附でなく、会費だと云えば、献金者の名前は出さなくてもよい。というザル法だ。だが、小佐野がら寄附だといふものを受取っているのは、ロッキードに關係ありと見られているのは、後藤田正晴(元官房副長官)、金丸信国(国土庁長官)源田実(参院議員)山村新治郎(自民代議士)只松祐治(元社会党代議士)高橋重吾(参院議員)平川篤雄(元三木派代議士)、内田常雄(自民党代議士)以上の人々は数年前から、小佐野から寄附を受けていて、小佐野と交遊のあるところから疑問視される線上に浮かんだわけである。昭和四十七年の総選挙に、これらの人に運動費として小佐野から渡った金は、八千万円に上っていることは表面額で、その裏面ではどれほど使っているか判らぬのださうな。

○小佐野という人物、それだけの献金が出来たから、寄附を受ける側からは、どんな金儲けの材料を受けているか判らぬとも云える。

○その他小佐野から受けた政治団体も十四に及んでいる。中には一回だけのものもあるが、数年連続の団体もある。大平蔵相の關係している新産業政策研究会、三木首相系の近代化研究会などと云う名前も見えるから面白い。もちろん、それがロッキードと直接つながりのあるものとは思われぬが、小佐野や丸紅と密着していることを考える時一沫の関連がと疑われるものになるだろう。

○一方鬼玉の方には交風俱樂部という右翼団体があり、過去八年間に恒り、二十一団体企業、九個人が三千五百万円程度の寄附を受けているが、小佐野の關係会社教社からずつとつづけていて鬼玉、小佐野との付き合いは特別でなく、普通の程度でつとつづけたのは偽証だと云えよう。

役人や代議士で収賄の疑いを受けている人数は

A つかいにやられたね、何か起るんじゃないかと思つていたら、果してなにかねって感じたな。崖くずれ、かな。

B 雪崩

UAKA

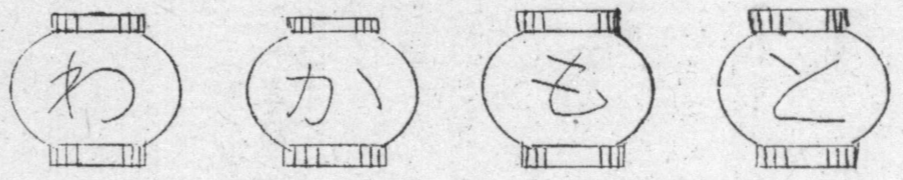


美しいお肌の生れるひみつ、説明入り
わかクリーム
ワカポマード

WAKAMOTO

ガン 予防は毎日

FATOR PREVENTIVO DO CANCER
ENZIMAS+COMPLEXO B+MINERAIS
百倍強力



FLORA BASTOS T. MORIMOTO & FILHOS LTDA.

Rua Duque de Caxias 524. C. Post. 171 Fone 28

生活安定策に果樹園造成をノ、果樹園成功の秘訣は苗木の良種を選ぶこと、優良苗木は豊材省公認の、バストス木林元苗木本舗に、御相談下さい。
シツチオを巡廻して居りますからよろしく、蘭の苗は全伯の蘭園の知名園と特約して良種を安価にて提供して居ります。庭園樹植林樹苗、鉢植の苗、花木類、杉松、モクセイ、ヒイラギ、ツバキ、ツツジ、ツバキ

木林元苗木本舗
電話二二九番

雪崩

A つかいにやられたね、何か起るんじゃないかと思つていたら、果してなにかねって感じたな。崖くずれ、かな。

B 三木投手をすりおろして投手交替の作戦、ありやまずかった。三木投手はたしかに迫力はなかつたが別にエラがあつたわけじゃない。

A ただ余りに野党チームのご機嫌とりのようなことを云うので、推名副将の気持を害したんだな！
B それでも見物人は、推名の馬鹿野郎なんてやじっているぜ。

A 推名は三木陣しを策動して簡単に行くと思つていたんだな。チームの大物に渡りをつけて煽ればすぐ火がついて、三木は逃げ出すと思つていたよ。うだ。ところが、俺は何も悪いことはしとらん。俺が頑張りなくちや暴力団から差入れをする黒い。ピーナツを貰った仲間を捕獲することはできない。というんだな。

B 自民チーム内で貰つた奴が推名副将をぞぞのかしてクリーンつらをする三木を降ろそうとした。三木がどうしても降りるといわんから、自民チームはてんやわんやだ。

A どうも話を野球にたとえたくて、こんがらがつて来た。自民の中もピーナツなどに関係のない連中も多いで、貰つた一部の仲間と混同せられるのはごめんと思つたのは無理はない。

B それに、総選挙は次第に迫ってくるし、ピーナツ党が誰々とすぐ判るわけじゃないから、クリン党はやきもきするわけだ。

A 推名は、始めの内は、ピーナツ問題解決は誰が主持になつてもやれると云つたが、これまでのピーナツ模様の事件では、検察方面に圧力をかけることのできる人物があることが知れている。検察当局といつたところで、彼らも官吏だから、政府要人とつながりもあるだろうし、前途の事も考えるだろうし、司法権独立だなどともいばつておれん事情もある。

B デリケートなもんだな。で、ピーナツ受取人は近いうちわかるだろうか？

A 各人によつて考えもちがうから、何とも言えぬが、政治家の大物は上らぬだろうな。主流どころ三名ぐらい、お役人の方で三人ぐらい起訴されれば、いいところだろう。もう一月もたてば、いくらか判明するだろう。

B 皆逃がしてしまふようなことは、あるまいね。

A まあ、いくら何でもそんなことはなからうが、起訴されたもの以外は公表しない、というから大小いくらう、とけつきりわかるわけじゃない。

B 自民チームは見物に飽きられてしまつたな。

A いや、きらわれたよ。もう沢山だつてね。だが、中曾根派の河野洋平議員外五人は自民党を脱出して新しい保守党を結成すると宣言したんだ。自民党にとってはショックだな。しかし、大なだれじゃない。岸の一角がボロボロと欠けた程度だ。

B 新保守党と銘打つたとして、五人や六人では党でもあるまい。解散後の総選挙で交渉団体二十名（？）にでもなれるだろうか？

A 今の処、これ程の影響力はないだろう。党内のこたごたに愛憎をつかしている人も居るだろうから、河野洋平議員の投げた爆弾で、ひっくり返る連中も出てくるだろう。実際はもっと大雪崩れであらう。

おしらせ

眼科専門



眼科を開設致しました

診療日は毎月第一と第三金曜日

七月診療日は二日と十六日

海野勲先生

診療の外めがねの度も調べ

手術もいたします

AVISO de HOSPITAL de BASTOS

各位 バストス病院

てはしかなかった。

B 野党側では拍手をしているだろうな。三木引きおろし、引おろして失敗しているところへ岸崩れだから、大げさに云えば、自壊作用を起しはじめたんだから。

A 選挙というものは判らぬもので、福島県（？）じゃ自民が勝つて地方行政とピーナツとは関係ないんだというし、埼玉県では野党一色で、畑知事は無投票で二選で勝っている。存外人が思うほどピーナツがひどい影響を与えないのかも知れぬ。

B いや、それは候補者次第といふことじゃなからうか。

A そりゃさうだ。何か何でも、この人でなければという固い票もあるし、ピーナツはやめてクリンな革新へ投票してみるか、という浮動票もあるから。

B その浮動票というのが次の総選挙シャープになるのじゃないか。

A わしは元来保守的な人間だから、自民党に勝たせたいが、どうも戦後回も疑獄事件を起したり、今度のピーナツなどのいやな問題が起きると不愉快だね。政治家が金、金、と云つて金を欲しがるのは金がかかり過ぎるからだ。だから金で買収されることにならうわけだ。

B 各大学の学生が、ひとところの労働問題や反警運動のようにロッキード問題に熱を上げていよう時局に乗つて感ぜだ。在伯邦人が遠くから騒いだとして、何んにもならぬが、日本内では大変な騒ぎだろうね。

3

A 国民が騒ぐことが悪いが悪いか知らぬが、政治意識が高くなっている今今日では騒ぐのは当然だろう。ロッキード、ビーナツがおかしな結果でしほむと、日本の将来がおかしくなる。わしはそれが心配だ。

B こんど自民党を脱出した河野洋平氏ら六人の保守新党企画は大変で、一服の清涼剤と云えなくもないが、五、六人の少数で果して有力な新党が出来るものだろうか。河野という人はそんな力量ある人かね。

A たとえ五人でも党は党だが、自民はくさっても鯛だ。自壊作用は起っても、そのままはりばりと崩れることはないだろう。どんな作戦で、今後対処するか知らぬが、ビーナツ連をはっきり切って選挙民の信頼をつなく位の策は講ずるだろう。

B 泰山鳴動第六匹か……

系 音

週報歌壇 第十三回分 作品

森重扶美 選

信太千恵子

○ 久々に出で来し旅の眼に涙みてミクロオングの鉄塔白し

○ 潮騒に目覚めし夜半海に向くホテルの窓は仄蒼く澄む

○ 生産につながらる働き休みなく道路工事の旗印み中

○ スタンドを明るき球に替えくれしわれの視力を気づかえる子は

○ 得ることの多き講演会なりき待ちくれし吾子をねぎらいて出す

○ 高原を貫き国道を拓きいるトラトールの唸り日に夜を次いで

○ 幾キ口が隔る鉄路にしま汽車の響音しるし雲低き夜

○ 旧友の訪ねきたりし一瞬の視線に三十年の隔りをみず

○ 身動きの叶わぬケージに今朝も二千の鳩は吾が給餌待つ

○ ビーラ、ペーリヤにて 土井はやし

○ 山骨のあらわれ出でたる容かと怪奇に満てる

○ ビラ、ペーリヤ尊ゆ

○ いかように洞窟続くや靡なく見る眼誘えどひとりは怖わし

○ 巖頭に登れば意外に平坦に緑もろすく伸び悲しき草

○ 巖頭に座りてしばし耳すませば風化水蝕の痛み伝い来

○ おちころの裂けし岩間の青草もかげりをもちて風になびけり

○ 浦川つばみ

○ 俄かなる大雨なれば外に出て取り入れ急ぐ留守居の日暮れ

○ かわきたる足場を送り歩みゆく雨後のぬかる

○ るみに靴をいといて

○ 諸ごとは打ち捨ておきて見舞わんとす親しき友の不遇を聞きて

○ ほのほのと心温まる一日にて贈着を付けし孫を見ており

○ 待ちあぐねいたりし使りようやくに届きて好便なりしに息つく

○ 送者 森重扶美

○ 鮮烈にケシの花群炎えいしが夜のしじまの幻となる

○ 伴なわれ来しパラソルの庭に咲く彩鮮々けきクワレズマの花

○ クワレズマの花季にさたりし侍世を重ねて言いつつ去りがたく佇つ

○ 主婦の座を放たれ今宵の君若かしもみじかざして舞う「紅葉橋」

○ 次々に郵便小包届きして訪日の夫帰る日近し

一九七六年六月二十三日

おしらせ

出発時間 七月二十九日午後五時

集合場所 ロードビアリア前

持参品 毛布・敷布・ガルフォ

ファッカデメーザ

ウニフォーム 白の事

バストス連合青年団

CONVOCAÇÃO PARA ATLETISMO INTERCOLONIAL EM SÃO PAULO

31/07 e 01/08 /76

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 Sergio Maki | 15 Oscar Narimtsu |
| 2 Antonio Kajita | 16 Carlos Kuroiwa |
| 3 Massanori Uemura | 17 Paulo Kawakami |
| 4 Yoshiaki Maki | 18 Jorse Nomi |
| 5 Osvaldo Itagaki | 19 Carlos Sato |
| 6 Sergio Niitsu | 20 Sunao Fujii |
| 7 Issao Nakanshi | 21 Eduson Yabuuti |
| 8 Maria Matsushita | 22 Milton Itagaki |
| 9 Mie Nomi | 23 Amelia Harakawa |
| 10 Elizabeth Ikedo | 24 M. Okura |
| 11 Miriam Motoki | 25 Minoru Shinozaki |
| 12 Dirce Yamane | |
| 13 Gorge Motoki | |
| 14 Nelson Yonezaki | |

金一封札

故島本サノ様御逝去の御に右の御寄附を頂戴致しました。厚く御礼申上げます

島本藤吉様

PLバストス教同一同青年会一同

1976年5月 バストスの気温と降雨量 株式会社製系拓製 測候部

項目	気温 °C	湿計 °C	湿度 %	最高 気温	最低 気温	降雨量 m.m	風向	天候	雲量
1	23.0	19.0	63	31.0	14.0		E	☉	5
2	24.0	19.0	57	27.0	15.0		S	☉	
3	24.0	19.0	57	28.0	13.0		E	☉	
4	24.0	20.0	64	29.5	15.0		E	☉	n
5	24.0	19.0	57	24.5	15.0		E	☉	
6	25.0	22.0	75	28.0	13.0		N	☉	
7	27.0	21.0	53	29.5	12.0		E	☉	
8	25.0	21.0	65	30.0	15.0		N	☉	7
9	23.0	18.0	58	31.0	18.0		N	☉	7
10	23.0	20.0	72	24.0	14.0	18.6	E	☉	5
11	19.0	18.0	89	26.5	16.5	4.1	S	☉	
12	18.0	17.0	89	22.0	15.0	0.2	S	☉	6
13	23.0	18.0	56	24.0	8.0		W	☉	2
14	20.9	17.0	70	25.5	10.0		E	☉	5
15	22.0	18.0	63	25.0	10.0		N	☉	
16	24.0	20.0	64	26.0	12.0		N	☉	
17	20.0	19.0	89	29.0	16.0	18.0	E	☉	7
18	22.0	21.0	90	23.0	17.0	1.0	N	☉	6
19	21.0	20.0	89	24.0	16.0	3.7	N	☉	10
20	20.0	18.0	79	25.0	16.0	0.3	N	☉	9
21	19.0	18.0	89	25.0	17.0	4.0	S	☉	8
22	20.0	18.0	79	20.5	14.0	0.2	W	☉	8
23	22.0	19.0	71	23.0	13.0		S	☉	2
24	25.0	22.0	73	27.0	15.0		E	☉	2
25	26.0	23.0	73	30.0	16.0		W	☉	5
26	26.0	22.0	66	29.0	15.0		E	☉	1
27	24.0	21.0	72	31.0	18.0		N	☉	5
28	23.0	20.0	72	29.5	15.5	3.6	N	☉	3
29	19.0	18.0	89	27.0	17.0	1.5	N	☉	
30	21.0	18.0	70	22.0	12.0	0.2	W	☉	2
31	20.0	17.0	70	24.0	8.0		S	☉	2
合計	696.0	600.0	222.1	820.5	441.0	137.4			
平均	22.4	19.3	71	26.4	14.2	4.4			

御 禮

昨年来の当区会館新築に当りまして左記の方々より物心両面の御厚意溢る御協力を得まして去る六月五日無事落成祝典を執り行う事を得ましたことは区民の齊しく喜びとする処でありまして茲に区民を代表して厚く御礼申上げます

- プレフフェイターラ様
- アルターバス高工社様
- 谷口オフィシーナ様
- 他 縁故の方々様

尚祝典当日は左記の方々より御祝儀を戴きまして誠に恐縮ございました。併せて厚く御礼申上げます。

- 山中安彦様 加藤幸次郎様
- 小沢 将男様 ウラエスシマヒエウ様
- 一九七六年 六月二十六日
- ファルツラ区 区長 池田 健

御 案 内

朝夕冷気一入の折柄皆様には愈々御健勝のこと何よりお慶び申し上げます。 茲に当区に於きましては来る、○七月十一日(日曜日)午前七時半より恒例の家族慰安運動会を催すことになりました。

就きましては当区縁故の方々と共に日伯兩國旗ハタメく原頭にて一日の歡を共にして戴き度く乍略儀紙上を以て御案内申上げます。

一九七六年 六月二十七日
ファルツラ区
区長 池田 健

皆々様

盛大に了えた四十八周年

開拓先亡者慰心祭

去る六月十八日夜八時から総合会館に於いて文協主催、担当輪番菅洞宗、武田祥師導師のもとに第四十八周年開拓先亡者慰心祭が厳かに挙行された。今年には文協役員方の熱心な呼かけが効を奏し、尚当夜は幸い好天に恵まれ非常に賑わい、参詣者は三百人近く、各団体、商社より供華の花輪、供物等によつて荘厳された祭壇の香煙に、導師の唱和の般若心経、修善義の音が厳かに流れた。

各代表者の平文の後全参詣者の焼香が終り、散会したのは十時頃であった。

ブラジルに最初の足跡を印した人達

故 鈴木南樹翁の遺著から

私は伊勢仙助の住所を確めた上、三浦村伊勢と無人島事件に、何等かの繋がりがあるか否かを判明させたいと思つて照会状を發したが、未だ何らの返信に接していない。参考のため三浦が昭和十年帰朝の折「東京日々新聞」九月二十六日の朝刊に報道された記事を転載する。

「……彼は三十年前に南洋方面で密漁中颱風のため遭難して、南支那海の一孤島に漂着し、ロビンソン・クルーソーそのまゝの生活をしていたのを、航海中ブラジル練習艦隊に救助されて横浜まで送り届けられた。上陸すれば密猟者として捕えられるのを恐れて、再び艦隊に哀願して、ブラジルの土となるべく日本を去つたもので……云々」

とある。彼とは勿論三浦日伯のことである。此の記事は何処から種子を探し出したか知らないが、当時三浦は東京憲兵隊本部から訊問を受けつつあったのであるから「東日」とも云わゆる大新聞が、殊更全く掘り所のない架空の記事を載せる様なこともあるまい。

現にブラジル海軍省とか、兵学校とかに、三浦が無人島から救助された当時の、さながら後寛島流しの様な頭髪蓬々たる姿ながら、眼を光らせている童顔の寫真がかかつていたのを見たという話を、私は誰やらから聞いた記憶がある。

「こういう風に考察して来ると友人Gの云う如く、私の書いたこと万更の虚構でないことが判る。

十六

三浦の原籍に付いても諸説紛々としている。これは私が十年の昔に、明徳夫から聞いた話であるが、イグアツペ植民地に入った岡山県人の変り者佐光近蔵（既に故人）が、広島県に居る三浦の父は三菱とか三井とかの支店に相当な地位にあり、伝言を頼まれて来たが、どういふものか何時も三浦と行き違ひになつて、逢ふことが出来ないとこぼしてたと云うことであつた。其伝言といふのは至極眉唾物であるが、何でも女子大出身とかの許婚のインテリ女性が、三浦の帰朝を待ちつつオールド・ミスになりか

けているから、一日も早く呼び寄せろか、日本に居るか決定するようにと云うのである。

これはまさか佐光の作り話ではあるまいが、佐光は何の因果か、死ぬまで三浦にこの伝言を伝えることが出来なかつたらしい。いよいよ以つて話のような話に終つた訳であるが、この伝言から佐光の説として明徳夫人は私に、

「三浦さんは広島県の人ですよ。え、それに間違ひありません」

と、広島県が三浦の生れ故郷だと断定する者もあれば、いや、新潟県だと云うものもあり、馬鹿を云え、三浦は東京生れたと、見て来た様なことを主張するものもある。しかし誰一人三浦に「君は何処の生れた」聞いた者もなかつた。三浦自身の口からも東京とも、広島とも打ち明けた話を耳にした人もあるまい。

只ここに二つ、三浦自身が帝国官憲から発給を受けた旅券がある。一つは三浦の所請「有吉君」から調査費を十五コントス貰つて、アマゾンナス旅行した時のものと、もう一つは昭和十年観光團長として母国を見舞つた際、サンパウロ総領事館から下附を受けた旅券とで、それには明白に高知県人となつてゐる。そんなら果して彼は高知県に原籍を持つてゐる人であるかと云うに、決してどうではない。私が或る機会に実見した戸籍謄本に依ると、三浦の養父能八（既に故人）は愛媛県今治町字新町に原籍を有し、現戸主は実子卓である。表妹トキ子は数年前まで東京市上野近くの高架線下のカフェー「イセカン」に女給をして居た事は事実である。

御通知

愛蘭会の皆様へ

来る入植祭の蘭展について御相談したいことがありますので、来る七月十三日（火曜日）午後七時半より森川食堂において集会を催します

又、蘭についていろいろと研究会も催します

愛蘭会

死亡通知並びに公葬御禮

父、信太兵治（八十二歳）儀老衰のため去る六月二十四日午後六時三十分永眠いたしました。依つて翌二十五日午後四時告別式を行い、五時出棺バストス墓地へ埋葬いたしました。此儀生前御交誼を賜わりました皆様方へ謹んでお知らせ申し上げます。

尚葬儀に際しましては御多忙中にも拘らず遠路御厭いもなく態々御会葬下されしのみならず御鄭重なる御香奠並びに御供華等お供え下され、御芳志誠に有難く厚く御礼申し上げます。

実は一々御伺い致し拝眉の上御礼申上げねばなりませんか何分取込中にこそこの意を得ませず、甚だ失礼ではございますが取り敢えず紙上を以つて篤く御礼申し上げます。

一九七六年六月二十七日

喪主

太

茂

母

信

太

茂

遺族

遺

族

同

親

戚

同

友

人

同

- 日本国サンパウロ総領事様
- サンパウロ日本文化協会会長様
- サンパウロ日伯板護協会会長様
- バストス市役所様
- バストス市議会議員様
- バストス日伯文化協会様
- バストス北海道々人会様
- バストス中央区区民様
- バストス中央第五区区民様
- 南米銀行重役御一同様

南米銀行バストス支店様
 三菱銀行様
 東京海上火災保険株式会社様
 有馬保険会社様
 安田海上火災保険株式会社様
 広田・小笠原・唐沢・商會様
 ニュチカ株式会社様
 フラスコート株式会社様
 日伯毎日新聞社様
 サンパウロ新聞社様
 東宝映画株式会社様
 シネ・ニテロイ様
 サンパウロ遠軽會様
 バストスPL教會様
 バストス仏教婦人會様
 バストス南米本願寺様
 バストス柔道部様
 シャーカラ区様
 シャーカラ會様
 ファルツォラ区様
 セグンド・コレジアル・ノツルノ様
 セグンド・コレジアル・ノツルノB様
 バストス・ブラビスコ商工株式会社様
 8ª SERIA A DIURNO 様
 7ª SERIA A DIURNO 様
 ALUNAS DE PIANO 様
 會葬者 御一同様

三浦ほどの者が自分の原籍地が何処であるかも知れないという訳もないし、苟しくも日本帝国の官憲がそんないい位な歳券を下げる理田がないから、それはお前の作り話であろうと疑う者があるかも知れないが、私は大鼓判押して、真実間違いないことを保証する。よく云えば三浦の俸い所で、サンパウロの総領事館などは御無理御尤で、法規上の詮索などしないので、軽辛に旅券を下げたものであろう。

御目出度いと言えは、それまでのことであるが、帝国官憲でさえも煙りまかれて、同じ四国の内であるとは云え、縁もゆかりもない高知県人として旅券を渡してしまう位であるから、物好きなら第三者から色々なデマを飛ばされても如何にも真実らしく、とんでもない県人に埋ね上げられてしまうことは、誠に余儀ないことでもある。

養家先の原籍地が愛媛県人であるが、三浦の生れた土地は東京と余り離れて居ない土地である。彼が少年時代を如何に送ったか、若し赤裸々な自叙伝でも書いたならば、只興味あるばかりでなく、如何にして彼の性格を作るに至ったか原因が判明するであらう。トルストイの幼年、少年、青年の三部作の自

御禮

金一封

右は御尊父信太兵治様御逝去の砌り香奠返しとして御奇蹟に預りました。厚く御礼申し上げます

信太 茂 様
バストス明老会

おしらせ

訂正(審査なし)

老人手芸展出品物は

審査せぬことになりました

全員参加章を差し上げます

×切 七月二十二日(木)正午十二時迄

に会場へ御持参のこと

バストス明老会

各位

叙仏を読んで、私はしみじみと幸福な裡にも、涙ぐましい時代に、無限の魅惑を感じしめられるが、三浦は何故にゴオルキ一の「私の幼年時代」の如く、敢然として虐げられたドン底の生活から立ち上った惨苦をかき得ないのであろう。彼の生い立には大きな人生の教がある筈である。

つづく

御禮

金一封

御母堂故島本サノ様の御葬儀の御香奠返しとして御奇蹟頂き、有難拝受致しました

島本 進 様
バストス明老会

VENDE-SE CASA

売リ家

煉瓦建 建坪約百五十平方メートル

タッタ総面積 間口十七メートル半奥行二十メートル 部屋数 クワルト三室・大サロン・サララ

奥に物置 浴室等あり

場所 ルア10デノベンプロ六ニ三番地

ブラ拓ガゾリン・ポスト前

御希望の方はオスワルドクルス市

ルママキンゼデノベンプロ八五六

佐野 まで

お問合せ下さい

御礼

金一封

御夫人サノ様御他界に際し前記の如く御奇蹟いただきました。厚く御礼申し上げますと共に謹んで御冥福を祈ります

島本 藤吉 様
バストス演劇研究会

御礼

故御母堂様の生前の御功労を偲び供養の金一封拝受致しました

後 藤利 夫 様

故御母堂様の生前の御功労を偲び供養の金一封拝受致しました
嶋本 藤吉 様

故信太兵治様の御死去に付き 先前の御功労を偲び供養金一封也を拝受致しました

信太 茂 様

バストス南米本願寺
バストス仏教婦人会

死亡通知並びに会葬御禮

母、長橋キヨノ（八十九歳）儀去る六月二十四日午後七時に
 普通に夕食を終え、突然発病、ただちに入院、翌二十五日午
 後六時バストス病院にて永眠致し、翌二十六日午後四時バ
 ストス墓地に埋葬致しました。
 此の儀生前御交誼を賜わりました皆様にご謹んでお知らせ申し
 上げます。

尚葬儀に際しましては御多忙中にも拘らず御遠路御会葬下さ
 れ、其の上過分なる御香華を賜わり厚く御礼申し上げます。
 一々拝眉の上御礼申し上げますが本意ですが、何分取込中
 にて、失礼乍ら紙上を以って厚くお礼申し上げます。

一九七六年 六月二十八日

喪主 長男 長 橋 智

妻 幹 枝

在日本次男 長 橋 孝

妻 芳 香

三男 長 橋 弘

妻 文 子

次女 馬 場 多 寿 子

夫 孝 一

四男 故斎の妻 長 橋 早 苗

孫 一 同

親戚代表 真 木 諭 吉

シリホリス 砂 原 裕

友人代表 水 馬 久

- バストス 生長の家 様
- バストス 南米本願寺 様
- ブラビスコ商工株式会社 様
- バストス 日伯文化協会 様
- バストス 商工会 様
- バストス 仏教婦人会 様
- バストス 福音ホーリネス教会 様
- バストス PL 教会 様
- バストス 中央第三区 様
- コチア・グランジャ・イアクリー 様
- バストス 剣道部 様
- バストス 草分會 様
- バストス 明老會 様
- 會 葬者 御一同 様

Cine Pustos

七月四日(日)九時半 五日(月)八時
 東映 総天 **仁義の墓場** 監督 深作欣二
 梅宮辰夫 成田三樹夫 池玲子 田中邦衛 安藤 昇

七月九日(金)八時、十日(土)九時半
 (渡哲也東映第一回主演)俺が死の時はカラスだけが泣く。正義組と悪徳に牙をむいた戦後やくざの語り草。
 監督 福田幸平
 夏純子 夏夕介
 小川ひろみ 森次晃嗣
 小島みゆき 伴淳三郎

七月十一日(日)九時半 十二日(月)八時
 松竹 総天 舞妓はべたよ **金魚集合**
 監督 渡辺裕介
 天地真理 吉沢京子
 伴淳三郎 大信田礼子
 なべおさみ 光本幸子

七月十六日(金)八時 十七日(土)九時半
 東映 総天 **冒険の三兄弟**
 監督 山下耕作 OSANGUE NAU NEGA
 小林 旭 田中邦衛 弓恵子
 渡瀬恒彦 河津清三郎 遠藤辰雄
 土田早苗 天津 敏

七月十八日(日)九時半 十九日(月)八時
 総天 **激突篇 日本伝**
 監督 山下耕作
 高倉健 渡瀬恒彦
 北大路欣也 田中邦衛
 大谷直子 藤山寛美

七月二十三日(金)八時 二十四日(土)九時半
 東宝 総天 **お姐さんお手やわかに**
 監督 坪島孝
 和岡あさ子 研なお子
 森昌子 堺正章
 山口百恵 藤村有弘

Aruso

死亡通知

夫・木口正元(六十八歳)儀永く病畳中の処
 去る六月十日午後八時永眠致し、翌十一日午
 後五時自宅出棺トラセーナ墓地に埋葬致しま
 した。
 生前御交誼を賜りました皆様には謹んでお知
 らせ申上げます。

一九七六年 六月 トラセーナ市

- | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------------|-------------|-------------|
| 喪主 妻 木口しのぶ | 長男 木口久夫 | 長女 木口しげ子 | 次男 木口宣禮 | 次女 木口出子 | 次男 木口宣禮 | 次女 木口出子 | 三女 木口出子 | 三女 木口出子 | 四女 木口出子 | 友人代表 宗政 兼 松 | 親戚代表 木口 正 功 | 故人の弟 木口 正 功 |
|------------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------------|-------------|-------------|

NOSSA RELOJOARIA

TAKAMI SHIBATA Rua Ad. de Barros 213 Fone 154

高級腕巻時計 壁掛時計
 カラーテレビ 天然色テレビ
 ステレオクラブドル
 超小型電卓計算器
 新型電気マシーナシ機・ラジオ各種大小
 写真機・幻灯機・八ミリ映画撮影機映写機
 ガスライター各種 電気ひげそり機ゆびわ
 宝石・めがね・莊身具・高級陶磁器
 ファッショナブル・銀器・蓄音機・拡声機色々
 記念品・贈答用品・おみやげ用品等
 目新らしい珍新らしい物を取揃えて
 皆様の御来店をお待ちして居ります

ルア・アテナルデ・パロスニ・三番地
 レロジョアリアタカミ

柴田時計店

電話 一五四